



校訓 誠実

みどり

学校教育目標 ひとすじに たくましく うつくしく

「おらほの学校」がんばり発信!

早いもので、もう師走...。冬の足音とともに2025年の終わりも確実に近づいてきています。令和7年度の上小阿仁小中学校の歩みも9か月目に入りましたが、学校は地域の皆さん元気の源となる活動等ができるのでしょうか。これは1村1校の地域における「おらほの学校」を目指す目標でもあります。今後も、引き続き地域に元気を届けることができるよう努めています。



<中3年生英語>

この秋、本校には外部から多くの方が訪問し、子どもたちの頑張り等を感じていただく機会が増えております。11月初旬には秋田大学教職大学院の方々が訪問し、和田渉教授（元県教育次長）をはじめ訪問者からお褒めの言葉をたくさんいただいたので紹介します。

- ◇子どもが自然に手を挙げ、全員が発言・表現する文化が醸成されている。発表や挙手が当たり前の環境で、学び合い・関わり合いが広がる素地を感じた。
- ◇個々の先生のカラーがありつつも、児童生徒にとって一貫性のある学習体験が提供されており、学年・教科を越えて、要所を的確に押さえる共通の指導観が共有されていた。
- ◇贅沢な英語の授業であったが、学習用語や授業の流れ等、授業の前提条件を揃えて進行しているからこそ成立。知識の標準化が学習の土台を支え、上に積み上げる学びが安定していた。
- ◇小中ともに学習に没頭する子どもの姿勢、教師の丁寧な関わり、授業の要所での子どもの把握が印象的であった。無駄な刺激がなく、統一感のある環境づくりにより、特別支援の観点でも集中が保たれていた。



<小5年生理科>



<小1年生音楽>



<小3年生図画工作>

11月はインフルエンザ大流行による休校措置もありましたが、校内外で子どもたちが自らの頑張りをつなぐ活動が充実していました。

小学校は「こあに学習（総合的な学習の時間）」のまとめ時期となっており、校外へ出向いたり、外部の方に来校していただいたらしくながら学ぶ機会が多くかったです。12月5日のPTAでは「こあに発表会」として、これまでの学習の成果を発表しております。

中学校は10月31日の「生徒会役員選挙」を受けて、11月14日に「生徒会任命式」が行われました。引継ぎの場では、3年生の充実感、後輩たちの新たな思いが交錯する会となりました。

小中学校としては、子どもたちが心待ちにしていた「バイキング給食」があり、お腹いっぱいに食を楽しむことができました。また、いつも子どもたちの心と胃袋を満たしてくださる庄司先生や4名の調理員さんへ日々の感謝を伝える機会となりました。

<薬物乱用防止教室（6年生）>

11月4日に本校の学校薬剤師であり、本校の卒業生でもある藤島哲大先生に講話していただきました。

大麻等の違法薬物使用については低年齢化が加速しており、社会問題へ発展しています。薬物使用に係る影響等も含めて、確かな知識を学ぶ機会となりました。



<避難訓練「不審者対応」実施>

11月12日に不審者対応をねらいとした避難訓練を実施しました。今年度は害獣に加え、不審者の発生件数も少なくありません。実際の避難に加え、北秋田警察署の方からも実演を交えた講話もいただき、改めて「自分の身は自分で守ることの大切さを実感する機会となりました。

【20の法則】 20秒全力疾走・20m離れる



生徒会引継ぎ～伝統の上に新たな風を～

10月31日の生徒会役員選挙の朝、生徒会黒板にはこれまで牽引してきた3年生に向けた感謝の言葉がありました。そして、立候補者の演説は学校の未来像に個々の思いをのせた熱のあるものでした。決断した勇気と挑戦した姿は、これからみんなで行う学校づくりに向けて踏み出す新たな一步となりました。

演説者の言葉を借りると「七転八起」、挑戦するからこそ上手くいかないときもある、でもまた立ち上がる。新たな動きが始まっています。（※右写真は任命式での引継ぎ場面の様子です）

【会長】 畠山陽詩 【副会長】 田中丈心



上記の役職に、各種委員会委員長2名を含めて「生徒会執行部」となります。後期の各種委員会も3年生のサポートを得ながらスタートしています。21名全員で新たな学校づくりを進めています。

<あきたふるさとCM大賞>

11月23日にはAAB主催の「あきたふるさとCM大賞」に学校祭で選ばれた代表班が出場してきました。放送日は12月28日16:00となります。

【メンバー】三浦清香・長田丈・畠山昊・上杉心絃
大沢絵美莉・萩野茉心子



【コラム：年の瀬に思う】

1年は365日。4年に1度、366日＝「うるう年」＝2月29日がある年。これは地球が公転（太陽の周りを1年かけて1周）するのに約365日（365.2422日）かかる、このズレが4年分で約1日になることから違いが生じる。直近の「うるう年」は2024年。次は2028年、この年は小中併設校としての歩みが21年目の年となる。